

## 平成25年度徳島県立鴨島支援学校「学力・学習状況」改善プラン

### 1 学力向上推進員 職・氏名( 教諭 中 史治 )

### 2 学力向上検討委員会

組織	校長 小学部主事 教務課長 特別活動課長	教頭 中・高等部主事 特別支援教育課長	
活 及 動 計 画 評 価	活動計画		評価
	5月:平成25年度改善プラン作成, 目標計画の確認等		4・3・2・1
	9月:中間報告等		
	2月:本年度の評価, 次年度への課題等		
3月:次年度の計画等			

### 3 現状・課題

児童生徒の障害は重度重複化, 多様化しており, 児童生徒の実態や発達段階に応じた基礎学力を身につけさせるとともに, 自分で決めたり表現したりする力を育成し, 学校生活だけでなく家庭, 地域生活においてもその力が発揮できるようにすることが必要である。また, 学部間の連携を図りながらも, 児童生徒一人ひとりに合った進路学習を行うことや, 小学部では人や物と関わる力の育成, 中学部では自ら学ぶ意欲の育成や基礎, 基本の定着と集団の中の好ましい人間関係の育成, 高等部では卒業後の生活につながる「生きる力」としての学力の伸長を図り, 社会性やコミュニケーション能力の向上を図ることが課題である。

また, 学校の取組を地域社会へ向けて情報発信したり, 交流および共同学習を充実させたりすることで児童生徒が生活しやすい社会環境の整備に努める。

### 4 徳島県教育の基本目標

『とくしまの教育力を結集し, 未来を創造する, たくましい人づくり』

～県民とともに考え, ともに育むオンリーワン教育の実現～

### 5 学校教育目標

- ・教育基本法の精神に基づき, 病気・障害に応じた教育を推進し, 日々に充実感を持ち, 生きる喜びを感じる教育をめざす。
- ・主体的に社会参加し, 自立をめざす児童生徒を育成する。

### 6 今年度の重点目標

- 1 地域社会の中で自分らしく豊かな生活を送ることをめざし, 系統的・組織的な教育活動の充実を図る。
- 2 地域社会及び関係諸機関との連携のもと, 実践的な教育活動の充実を図る。
- 2 地域及び関係機関と連携した防災教育の充実を図る。
  - ・教職員の防災体制の充実を図る。
  - ・地域防災組織との連携を図る。
  - ・学部の実態に応じた防災教育の充実を図る。

### 7 「参加・活動」状況改善のための「環境因子」改善プラン

重点目標 地域社会及び関係諸機関との連携のもと, 実践的な教育活動の充実を図る。						
	「参加・活動」状況改善目標	「環境因子」改善プラン	具体的方策	評価規準	評価	次年度の課題
小学部	・「ものづくり」(うどん・パン・ケーキ等)の体験を通して, しごと(はたらくこと)に対する関心を高める。	・進路学習年間計画の様式の検討や評価に関するケース会を実施する。	・進路学習年間指導計画に関する検討会を年間2回以上実施する。 ・外部講師を招き, 進路学習を1回実施する。	・進路学習年間指導計画に関する検討会を年間2回以上実施できる。	4・3・2・1	
中学部	・校外学習において, 地域の施設や事業所等の見学をし, 将来のことについて意識したり, 関心を高めたりする。	・進路学習年間計画の様式の検討や評価に関するケース会を実施する。	・進路学習年間指導計画に関する検討会を年間2回以上実施する。 ・施設見学を実施する。 ・外部講師を招き, 進路学習を1回実施する。	・進路学習年間指導計画に関する検討会を年間2回以上実施できる。	4・3・2・1	
高等部	・体験的な進路学習を通して, 進学や就労, 社会参加に必要な力について, 具体的に知ることができる。	・進学や就労及び社会参加に必要な力について検討し, 整理する。	・進路学習年間計画に係る検討会を年間3回以上行う。 ・生徒の実態に応じた就業体験や施設実習及び施設見学を実施する。 ・外部講師を招き, 進路に係る実践的な事業を行う。	・進路学習年間計画に係る検討会を年間3回以上行う。	4・3・2・1	

重点目標 防災対策の充実を図る。						
	「参加・活動」状況改善目標	「環境因子」改善プラン	具体的方策	評価規準	評価	次年度の課題
全校	防災に関する学習を通じて, 具体的な避難の仕方を知る。	・児童生徒の実態に応じた防災に関する学習を行い, 避難対応の具体策を検討して実践する。	・防災活動を年3回以上行う。	・防災活動を年3回以上実施できる。	4・3・2・1	